

ティーネのいいね！ドイツ

沼田市国際交流員が教えるドイツ

バレンタインデー

ドイツでも2月14日はバレンタインデーです。この日は、女性だけでなく、男性もチョコレートやプレゼントを贈る習慣があります。そのため、ホワイトデーがありません。プレゼントではお花（特に赤いバラ）やチョコレートが定番ですが、ジュエリーやロマンチックな一泊旅行なども人気です。ドイツのバレンタインデーは思いを寄せる人にプレゼントを贈るので、日本では一般的な「本命チョコ」や「義理チョコ」というカテゴリーはありません。バレンタインデーはカップルの日です。そのため日本のように「初めて愛を告白する日」ではないので、告白するドキドキ感、誰かから告白されるかなというドキドキ感はありません。バレンタインデーの存在に反対して、その日を不要な日と思っている人もいます。パートナーを喜ばせるのはバレンタインデーに限らず、1年に365日もあるからです。また、バレンタインデーを商売主義と思って、それに乗らない人もいます。



手作りのケーキ（左） 彼からもらった花束（右）

また、バレンタインデーだけではなく、ドイツ人は相手と呼ぶ時の愛称でも相手への思いを表します。恋人を愛称で呼ぶのは家庭内だけではありません。ドイツに行くとき必ず耳にするのは、愛称人気ランキング第1位の「Schatz」（シャッツ）です。もともと「宝」の意味をもっていて、自分の大事な人を宝物に例えるために「Schatz」と言われるようになりました。[Schätzchen]（シェッツヒェン）か「Schatzi」（シャッツイ）と語尾を変えたパターンもよく聞きます。第2位は名前を短くしたニックネームで、第3位はうさぎ「Hase」（ハーゼ）です。この「Hase」は女性が彼に対して使う言葉です。もっと可愛く発音したい時は「Hasi」（ハーズィ）と呼びます。男性はうさぎと呼ばれるのが好きかどうかは別の話ですが、ドイツ人は好きな人に動物の名前を付けることが好きです。女性はよくネズミ「Maus」（マウス）やもっと可愛い呼び方「Mausi・Mäuschen」（マウズィ・モイスヒェン）と呼ばれています。例えば兄は自分の彼女を宝「Schatzi」（シャッツイ）と呼び、私をMausi（マウズィ）という愛称で呼んでいます。



作者：クリスティーネ・バウアー（ティーネ）
問い合わせ：c.bauer@city.numata.gunma.jp
👩🍳 クックパッド：沼田市のキッチン

Schönen Valentinstag!
(良いバレンタインデーを!)